

# 「人材開発支援助成金」の活用例③

## 美容業界での生産性向上を目的とした人材育成への活用

業務改善を実行し人手不足の解消と生産性の向上を実現した企業が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

### 美容業界で抱える課題

- **技術者の育成**  
店舗数の増加による競争激化の中、生産性を上げるためには他社との差別化を図る必要があり、顧客獲得のための取組としてサービスメニュー（ヘア・エステ・ネイル等）も多様化するなか、それぞれの**技術者の育成が大きな課題**。
- **人手不足**  
有資格者は増えているが美容業界のイメージと労働環境のギャップ等による離職者が多く、**人材の流出が課題**。

### 課題解決に向けた業務改善

- 美容業界における恒常的なトレンドの変化に対応するには、**美容や接客スキルの向上が必要**であり、日々の業務のみならず、研修という場においてスキルアップを図るため、**社内研修制度を導入、さらに教育訓練施設を活用**。
- 研修を活用することにより、**個々の技術力向上につなげ、それを給与体系に反映することにより人材の流出を防止**。
- **定期的な面談**を実施し、スタッフの意見を取り入れ、お客様だけでなくスタッフからも選ばれる店作りを目指す。

### 人手不足の解消と生産性の向上

- 1対1の定期的な面談を実施した結果、**労働環境について見直し**をする機会を作り、人材流出による**人手不足を解消**。
- 研修で学んだスキルを活かし、顧客の要望に応えることができるようになり、**顧客満足度の上昇による生産性の向上を実現**。

### 人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、新規採用した従業員などを対象に、業務に必要な美容や接客に関する技術を身につけることを目的とした研修を実施する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、研修等の費用負担を抑えることができます**。
- 研修を受講した従業員は、スムーズに業務に取り掛かることができます。また、**技術者の育成に当たる従業員の負担も軽減**され、生産性の維持・向上も見込まれます。

